

学校給食センターはどんなのか



小嶋 光明 議員

10年間の運営費等を踏まえ、複数センター方式にするか、1センター方式にするか等、複数の案を作成し、検討してきた。

議員 8月の全員協議会において、「1センターとすることが適当」と説明を受けたが、その理由は。

議員 市内の学校給食施設は、現在どのような状況なのか。

市長 6つの給食センターいづれも老朽化が進み、国の基準やアレルギー対応指針に適合していないので、大規模な改修が必要な状況である。

しかし、大規模改修は極めて難しく、新たな施設を建設する必要がある。

議員 新給食センター建設に関して、これまでどのような検討をしたのか。

市長 現在の施設の状況、児童・生徒数の予測、

ターを造るべきではないのか。市長の考えは。

市長 様々な検討の結果、1センター方式とすることが適当との結論に達したので、今定例会で予算の議決をいただけたならば、令和3年の供用開始に向けて事業を進めたい。

議員 新給食センター建設の今後のスケジュールに関する考えは。

市長 令和2年1月までに入札、その後、本契約の議決をいただき、同年3月中に着工、令和3年3月までには工事完了、同年9月には供用開始というスケジュールになっている。

議員 深江と口之津の給食センターは比較的新しいのに、なぜ使わないのか。

市長 毎年行われる県の定期検査で、「施設設備に関する改善」の指摘を受けている。調理場内に、本来部屋単位で区切るべき汚染区域と非汚染区域が混在している。アレルギー対応の調理場が確保されていない。

議員 早急に新給食センターを造るべきではないのか。市長の考えは。



新学校給食センター建設予定地(旧龍石小学校跡)



(堂山と新切)団地の代表者は非常勤の特別職か



高木 和恵 議員

市民生活部長/地方公務員法の特別職にかわりはない。

は。

③島原、雲仙の両市は、すでに納税組合を廃止。松本市長は「今、検討中」と答弁した。廃止すると、約1,200万円が不用になる。

次回は出せるか聞いた。

市長 次は、12月になるので出せると思う。

市民生活部長の報告

市民生活部長 市長が委嘱状を交付しているのが代表者でも自治会長でも同等。報酬は条例で定めがある算定で支給する。

松本市長の政治姿勢

議員 3点について「検討結果」を通告していたが、3カ月前の質問に対して悪びれることなくすべてを「引き続き検討する」と答弁した市長には呆れた。

①0歳〜2歳の1子目の保育料だけが、現在有料。市長の公約は「保育料の無償化の推進」。任期中には、全員無料にするか。

②バイクの免許証(原付含む)返上者に「交通費助成金」を支給する決意

ころが直後から沈下がまった。深い所で30cm、平均15cm、原因はわからないが県は検査済を理由とし、後は市の責任になったと説明。市は、建物落札業者に、地盤沈下の抑制工事の追加を予算を確保しないで昨年執行していた(6,930万円)市長は昨年の12月の全協の中では、地盤沈下ではないと断言し、隔々まで埋っていないことで水が入って締まっただけと説明をしていたのに何故市長は県に責任を求めないのであるのか。私は県の責任はあると考える。市長は委員会が予算編成時期を指摘していたので採決直前に不適切をわびて補正のお願いをした。



口ノ津港地盤沈下

市長 取り扱いとしては不公平ということよりもそれを容認されていたと思っている。

議員 市は県に埋め立てを委託。平成30年3月工事が完了、検査終了、と

県発注の埋め立て工事

①受注者 共同企業体 (西海建設・宅島建設)
②契約金額(税込み) 275,473,440円
③市が県に支払った額 182,474,640円 うち、埋め立ての金額 163,181,520円